

愛ラブ 広見川 (渡川水系) 環境マップ

美しく豊かな川へ
清流四万十川源流を辿る



愛媛県南予地方局

広見川(渡川)の風景

鬼北町で撮影中!

豊かな自然の中で流れる広見川(渡川水系)の美しい眺めは、四季折々、様々な場所において、その姿を変え流域の人々や訪れる人々を癒し、育ててきました。



広見川(渡川水系)とのふれあい、生活

広見川(渡川水系)流域の人々は、川に親しみ、川に敬愛の念をもち、また、生命を育むかけがえのない財産として守り続けてきました。



広見川(渡川水系)のすがた

流域のあらまし

広見川は、日本最後の清流と形容される四万十川の支流に属して、その源流は、鬼北町と高知県の県境に発しています。

源流から流れ出た川は、多くの小川を取り入れながら、次第に水量、川幅を増していき、途中に大宿川、三間川と合流し、さらに高知県四万十市西土佐江川崎で四万十川に合流し、太平洋へと注いでいます。

広見川の流域面積は、約364km²、川の延長は約61kmで、支流は、118河川にもなり、主な支流としては、藤川、大瀬川、日向谷川、安森川、下大野川、大宿川、三間川、堀切川、奥の川などがあります。



川のまもり

昭和20年秋台風時には、浸水戸数260戸に達する大水害となりました。近年では、昭和54年、57年、63年に氾濫、浸水被害が発生したことにより平成元年から、改修工事をしています。

現在は、松野町瀬生地区より鬼北町野野に至る延長約13km区間において、堤防・護岸の設置・川幅の拡大、環境の改良等を行い、洪水がないう川を目指しています。



豊かな自然

川辺には、ワルヨシ、ススキ、メダケ、マガケ等が繁り、魚に優しい水質を与えています。

アユ、ウナギ、アマゴ、コイ等の魚類や、モクスガニなどが豊富で、特に天然ウナギ及びモクスガニは、この地方の特産物となっています。



川のくらし

漁業



森の働き

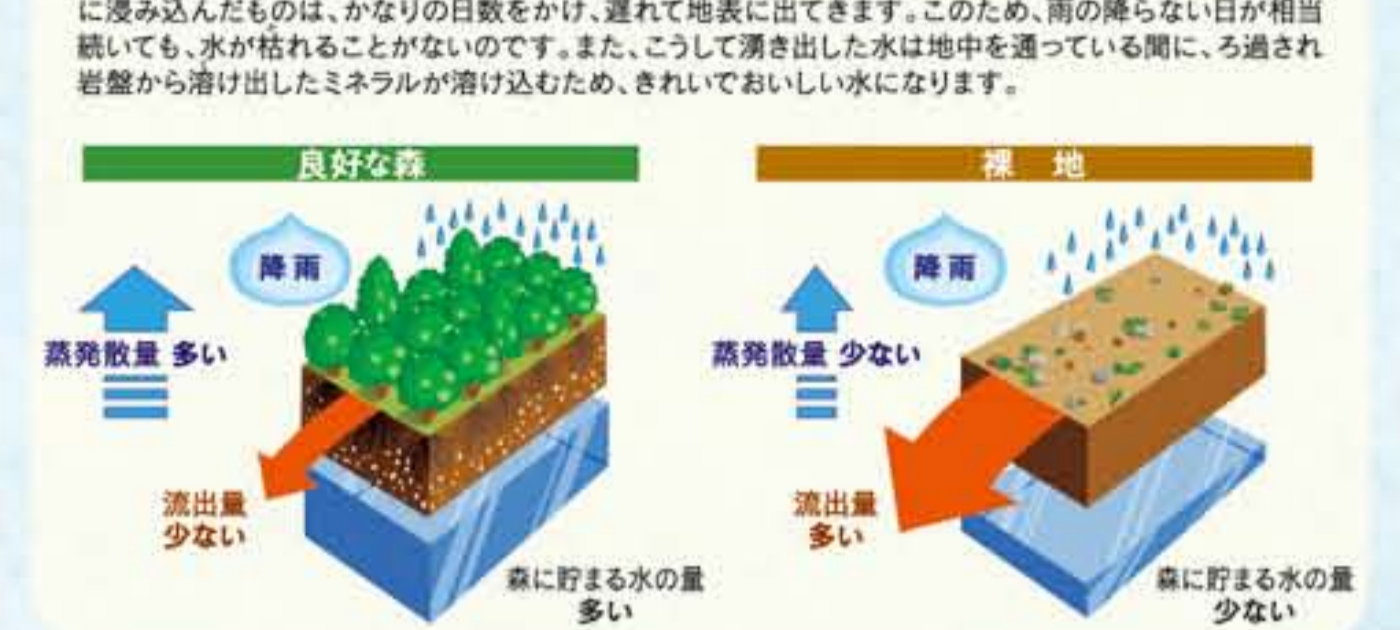
川の水は、雨が地表や地下を通り、マダニ小や溪流を通じて流れ込んできます。

森は洪水の緩和に役立ちます

台風がやって来た時など、短時間であっても、ものすごい量の雨が降るときがあります。この雨が、そのまま川に流れ込むと、一気に水かさが増し、川が氾濫するなどの洪水が起きます。森は、降った雨の一部を一時的に貯めることができ、貯まった水をゆっくりと川に流す効果があることから、洪水の緩和に役立ちます。

森は水を貯めることができます

森の土にしみ込んだ水は、比較的大きな隙間を通り、時間をかけて流れ、さらに深い層や岩盤の亀裂にしみ込んだものは、かなりの日数をかけ、遅れて地表に出ます。このため、雨の降らない日が相当続いても、水が枯れることがないのです。また、こうして湧き出した水は地中を通っている間に、ろ過され岩盤から溶け出したミネラルが溶け込むため、きれいでおいしい水になります。



森は土砂の流出を少なくします

森の土の中にある比較的大きな隙間は、植物の根が腐って出来た穴や土の中に住む昆虫など、生物の働きによってできたものです。そして、それはやわらかく侵食されやすい土ですが、上空から落ちる雨粒の衝撃を木が受け、草や根が表面の土が流れるのを防いでいます。また、樹木が根を張り巡らせることによって、土砂崩れの防止に役立っています。



森は美しく、水は清く

川は美しく

農業の取り組み

田植えのために、田に水を入れて整地の作業(代かき)の時に、濁った水が川に流れ出て、川の水を濁らせています。

●川を濁らせないために!

鬼北地域を流れる広見川から四万十川へ汚れた水が流れ込むのを防ぐため、平成21年度から、田んぼに「止水板」を設置したり、「浅水代かき」をして川を汚さないよう活動しています。



止水板の設置

排水口に止水板を設置することによって、代かき作業に伴う排水口からの濁水流出を防ぐことができます。

環境にやさしい「止水板」と「浅水代かき」で川を美しく

ため池の働き

鬼北地方には、約280のため池があります。ため池は本来農業用水の水源として築造されていますが、自然環境の保全等にも役立っています。

- ① 自然環境の保全: 水草や水生昆虫、魚類、両生類、鳥類等多様な生き物の生育空間を提供しています。
- ② 地下水涵養: ため池は溜められた水がゆっくりと地中にしみこむので、地層地下水の涵養に役立ちます。
- ③ 洪水の調整や土砂流出の防止: ため池が雨水を一時的にとめることで、洪水を軽減し、土砂の流出を未然に防ぎます。

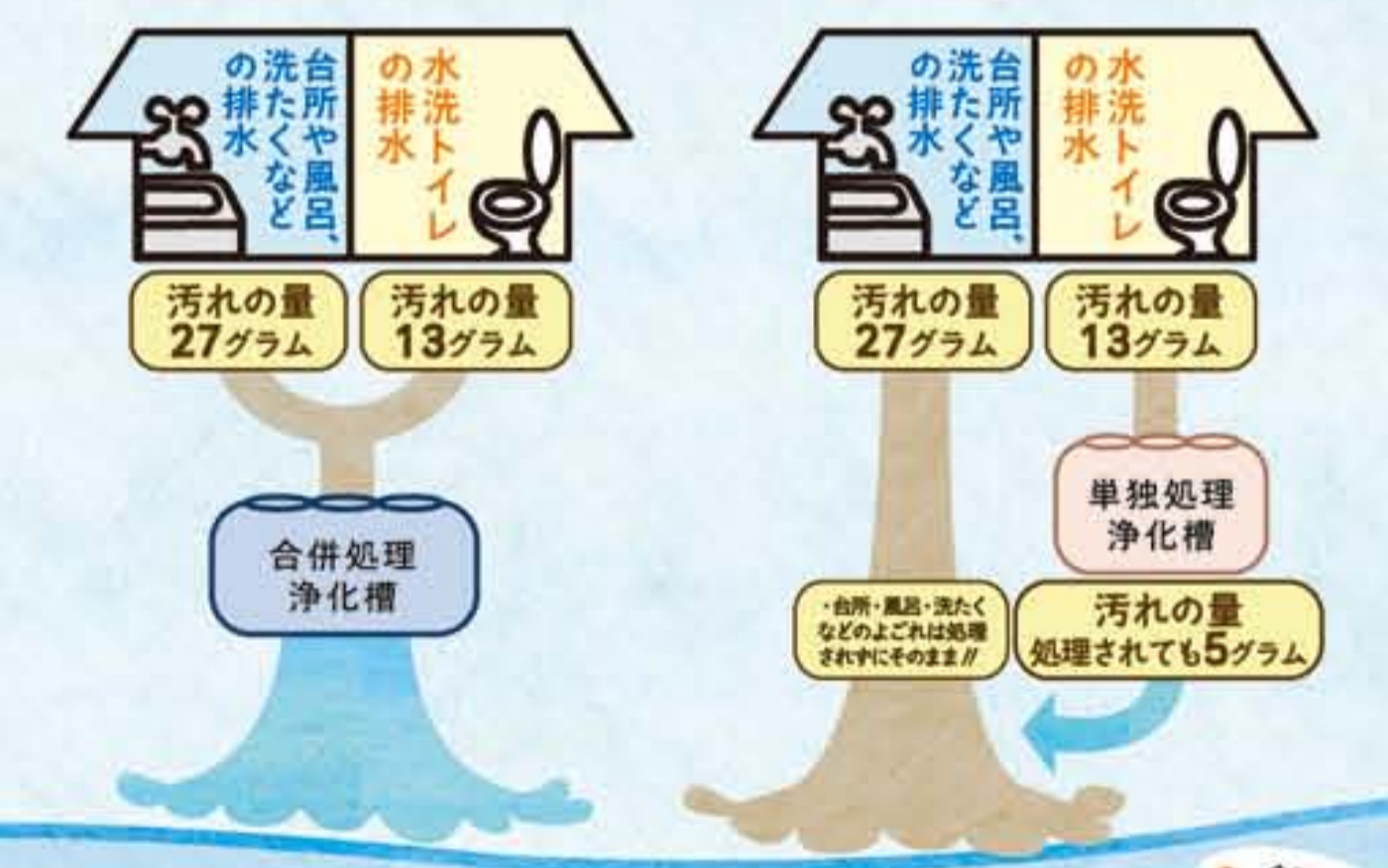
暮らしの取り組み

台所や風呂、洗濯などから排水される生活雑排水は、河川の水質汚濁の大きな原因となっています。食食用油の処理や洗剤の適正使用など、地域ごとの水質浄化への取り組みが必要です。

河川の水質汚濁を防止するには、公共下水道・農業集落排水施設・合併処理浄化槽などの整備が効果的です。

その中でも、家庭から出る尿や生活排水を全て処理できる合併浄化槽は、下水道などの大規模施設が整備されていない地域の生活排水施設として有効な手段です。

※数値は1人が1日に出す水質汚濁物質の量をBOD(生物化学的酸素要求量)で表したものです



放出される汚れの量

4グラム

5グラム+27グラム=32グラムの汚れ!!

えひめAI-1

えひめAI-1とは? 愛媛県産業技術研究所で開発された「環境微生物」のことです。

台所、トイレ、風呂場等の排水口に「えひめAI-1」を流すなど使用することによって、水質向上、汚泥削減、消臭等の向上を図ることができます。

なお、えひめAI-1は、地元市町で無料配布しておりますので、お問い合わせください。

美しく、豊かな川へ

河川には、私達の生命や財産に関する重要な機能があります。大雨や台風などで降った水を安全に海まで流す機能(治水機能)と、農業のために田んぼで使う水や飲み水などの水源としての機能(利水機能)です。

また、動植物の生息地としてや、私達の憩いの場としての機能(環境(親水)機能)もあります。きれいな水や、岩場などの動植物が生息するための河川の水質を守ることは、とても重要です。

河川は、みんなのもの、みんなの財産です。また、河川を美しく、豊かに保つためには、みなさんの積極的な協力が不可欠です。

●「河川ボランティア」

愛媛県では美しい河川環境を創り出すために「愛りバー・サポーター制度」という取り組みを行っています。

「愛りバー・サポーター制度」とは、河川ボランティアを募集し、これらの団体に河川の愛護サポーターとなつていただき、河川敷の除草や清掃美化活動を行ってもらう制度です。

我が川は美しく

- ① ゴミを捨てないようにしましょう。: 美観を損なうだけでなく、川に棲む動植物の生態系を崩す要因となります。
- ② 水質事故に注意しましょう。: 重油等有害汚濁物質が流出すれば自然環境・生活環境に大きな被害となり、また、農業や産業に大きな打撃を与えます。

我が川は豊かに

- ① 石、砂は採らないようにしましょう。: 川にあるものは、みんなの財産(公共物)です。採取は、自然環境を壊す一因となり、また、豊かな動植物の生態系を崩しかねません。
- ② 堤防に工作物を作ったり、水を補えないようにしましょう。: 堤防は、水害などから住民の皆さんの生命や財産を守るための大切な役割を持っています。大切な堤防に水を補えたりすることで弱体化させることは好ましくありません。

